

平成三十一年度 日高看護専門学校 入学試験問題

〔地域枠・社会人〕

〔国語総合〕

(時間：六十分)

《注意事項》

- 1 試験監督者の指示があるまで問題冊子は開かないでください。
- 2 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があります。監督者の指示に従って、それぞれ正しく記入し、マークしてください。
- ① 氏名欄に、氏名・フリガナを記入してください。
- ② 番号欄に、右詰めで受験番号を記入し、その下のマーク欄にマークしてください。
正しくマークされていない場合には、採点できないことがあります。
- 3 解答は、解答用紙の問題番号に対応した解答欄にマークしてください。
国語の問題は全部で三十七問あります。解答用紙の問一から問三十七までの解答欄を使用してください。
- 4 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 5 試験終了後に問題冊子を回収しますので持ち帰らないでください。
- 6 問題冊子の所定の欄に受験番号を記入してください。

受 験 番 号

□ 次の問いに答えなさい。解答番号は①～⑤。

問一 次の作品の中で、作品の書かれた時代が違つたものを一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は①。

- ① 雨月物語 ② 伊勢物語 ③ 竹取物語 ④ 栄華物語

問二 次の書き出しで始まる作品の題名を、あとから一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は②。

いづれの御時おほんときにか、女御にようご、更衣かういあまたさぶらひ給たまひけるなかに、いと、やむことなき際きはには、あらぬが、すぐれてときめき給ふありけり。

- ① 枕草子 ② 徒然草 ③ 源氏物語 ④ 世間胸算用

問三 次のうち、敬語の使い方が誤っているものを一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は③。

- ① これからすぐに私がうかがいます。
② 先生が、記念に鉛筆をくださった。
③ 私の描いた絵を拝見してください。
④ では、お食事をお持ちしましょう。

問四 「公明正大」と同じ漢字の構成で成り立っている四字熟語を一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は④。

- ① 日進月歩 ② 半信半疑 ③ 喜怒哀楽 ④ 利害得失

問五 次の傍線部の語句と同じ品詞が用いられているものを、あとから一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は⑤。

⑤。

雨になり、やがてその雨が止んだと思うと、今度は凍てつく寒さが続くのであった。

- ① 会場は静かである。
② 彼は中学生である。
③ 彼女は電車で来る。
④ 彼らは喜んでやる。

人はすべて、自然の変化に従うという運命を持っている。誰もが老化し、やがて死を迎える。すばらしく平等である。その変化を、私たちは学ばねばならない。

四十を過ぎると、人間は日々少しずつ、当人は気づかなくても老いていく。いや化粧品メーカーのセンデンによると、二十五歳から、人間はどんどん老いるのだという。

五十、六十を過ぎると、人間は勝ち目のない闘いに追い込まれる。つまり人間はもう若くなることは決してないのだから、これから先、体力はどんどん弱くなり、能力は衰え、美貌(びぼう)は失せ、病気は次第に癒(なお)りが悪くなる。別に悪いこともしないのに、どうしてこんなひどい目に遭(あ)わなければならないのだ、とモンクを言いたくなるようなものである。

しかし、人間は幸福によっても満たされるが、苦しみによると、もっと大きく成長する。ことに自分に責任のない、いわばいられない不運に出会う時ほど、人間が大きく伸びる時はない。老年に起きるさまざまの不幸は、まさにこの手のシレンである。

もし私が、そのような不運を若い時に味わったなら、私はそれをどうシヨリしていいかわからなくて、自殺してしまったかもしれない。しかし、四十年、五十年、六十年あるいはそれ以上の体験は、それを受ける力を用意してくれているのである。つまり老年の苦しみは(私流に言えば)、神が私たちに耐える力があると見込んで贈られた愛なのである。

「旧約聖書」がアダムとイヴの楽園物語によってアダムの犯した罪の結果を子孫である我々が受けつがねばならないと説明したのは、本来は永遠に幸福に生きるべき人間が、いやでも「老・病・死」という不当な運命に出会わなければいけないことを正当化するものであった。

しかし、あらゆる願わしくない、しかも不当な運命に会う時、人間は飛躍的に精神を太らせて来た。罰を受ける理由はないのに、「老・病・死」を苦しまねばならぬ時に、人間は初めてこの地球を全体として眺めることができるようになる。シンコウや哲学がそのためにできた、などという言い方をしなくても、人間はその時になって初めて自分を把握し、自分の生命が数十年の使命を終えてムキ物に還るその過程を「受諾」する気持ちになれる。

A それは、人間が自分を真に成熟したものとして育てるための、最後の贈り物なのである。

作家として暮らした長い年月の間に、私はたくさんさんの未知の読者からの手紙を受け取った。そのような形で、あんな人の人生の片鱗を見せてもらえるなどということは、そんなにシジュウあり得ることではない。私はそれを一種の光栄だと感じ、居ずまいを正すような思いで読むことにしていた。

多くの手紙は悲しみに溢れたものだった。もちろん喜びに満ちたものもあったが、悲しみを受け止める時、人はもつともみごとに人間になる。私はごく自然に、悲しみこそ人間の存在の証だと思ふようになった。それらの手紙に書かれたできごとは、珍しいことかもしれないが、決して異常なものではなく、むしろフヘン的な健やかな人生の断面において輝いていると思うようになったからだった。

老年は体力が落ち、病気もがちになる。自分がいつまでも若くあらねばならないと無理をしたり、病気には全く意味がないと思ったりする人は、そこで躓いてしまう。B 人間は、あらゆる立場から学び、賢くなることのできる動物なのである。

昔、私は怠けて教室で居眠りばかりしている学生だったが、ある日ふと目覚めると、一人の神父が言っていた。「フランスでは、『健全なる精神は健全なる肉体に宿る』とは思っていない。体が丈夫なだけで、何も考えないような人間はどうしようもない」

私の眠気はいっぺんに吹っ飛んだ。この時初めて、私はケイハクにも大学に入ってよかったと思ったのである。ヒルネから覚めた直後にこういさわりるところを聞いたなんて私はほんとうに運がよかった、と思ったのだ。

「お取り寄せ」の美食に熱中し、年より若く見えるために美容に狂奔することしか考えない人たちが年を取る時こそ、そこに空洞で荒涼とした救いようのない心的光景が待っている可能性もある。

日本は高齢社会の充実の姿を、カイタクして見せねばならないのだ。

(曾野綾子「老いの僥倖」)

問一 傍線部 a～j と同じ漢字が用いられているものを、次からそれぞれ一つずつ選び、番号で答えなさい。

- | | | | |
|---|------|---------------------|------------------------|
| a | センデン | ① 学問にセンシシする。 | ② カセンが氾濫する。 |
| b | モンク | ① 議長が開会をセンゲンする。 | ④ センサイな感受性。 |
| c | シレン | ① 王家のモンシヨウは蓮の花だ。 | ② モンゲンまでには帰ってきなさい。 |
| d | シヨリ | ③ 先生のご自宅をホウモンする。 | ④ キョウモンを唱える僧侶。 |
| e | シンコウ | ① カレンな花が咲いた。 | ② 何事にも動揺しないロウレンな弁護士。 |
| f | ムキ | ③ 彼にレンボの情を抱いてはならない。 | ④ レンジツの大雨で多くの被害が出た。 |
| g | シジュウ | ① 困難な事態にタイシヨする。 | ② 書類にシヨメイするアメリカ大統領。 |
| h | フヘン | ③ 専門家としてのシヨケンを求める。 | ④ このパソコンはシヨキ不良を起こしている。 |
| i | ケイハク | ① シンリを探究する修行者。 | ② ダーウィンのシンカ論は仮説にすぎない。 |
| j | ホウモン | ③ オンシンが途絶える。 | ④ 人生のシンサンをなめる。 |
| | | ① 絶好のキカイを得る。 | ② この服のキジは粗悪なものだ。 |
| | | ③ キシ回生のホームラン。 | ④ 実力をハッキする。 |
| | | ① 面接官は誠実さをジュウシする。 | ② ジュウシヨウの患者を病院に運ぶ。 |
| | | ③ リンジュウに立ち会う医師。 | ④ 未だに仮設ジュウタクの数が足りない。 |
| | | ① 地震へのキョウフにおののく人々。 | ② 私はフダン、通勤中は読書をしている。 |
| | | ③ フメツの名声を得た俳優。 | ④ ビラをハイフする。 |
| | | ① ホンポウに振る舞う。 | ② 自分の秘密をコクハクする。 |
| | | ③ 彼はハクガクの士だ。 | ④ ハクジヨウな人。 |

問五

傍線部2「私はほんとうに運がよかった、と思った」とあるが、筆者は、なぜそのように思ったのか。その理由として最も適切なものを次から選び、番号で答えなさい。解答番号は(21)。

- ① 「お取り寄せ」の美食に熱中し、年より若く見えるために美容に狂奔することしか考えていなかったが、ある教会の一人の神父の言葉によって、外見よりも内なる心を磨くことが大切だということに気づいたから。
- ② 人間不信からやる気のなかった自分だったが、偶然「旧約聖書」のアダムとイヴの楽園物語を読み、アダムが犯した罪の結果を知ったことで、このままではいけないと心を入れ替え、努力して有識者になれたから。
- ③ 大学では最初はやる気がなく適当に過ごしていたが、周囲の友達はみな勤勉で、自分の生き方の方向性を持っており、それに刺激されて自分も学問に励むようになり、作家としての土台を築くことができたから。
- ④ それまでは忘れて居眠りばかりしている学生だったが、一人の神父の言葉によって、考えない人間は無価値であること、人間はあらゆる立場から学び、賢くなることができるということに気づくことができたから。

問六

この文章の表現の特徴として、最も適切なものを次から選び、番号で答えなさい。解答番号は(22)。

- ① 意図的に難しい表現を避け比喩を多用することでその時々々に感じた印象を効果的に伝えている。
- ② これまで体験した多くの事例を挙げることで自分の現在置かれている過酷な状況を伝えている。
- ③ 難しいテーマを平易で具体性のある書き方で、読む人にわかりやすく自分の考えを伝えている。
- ④ 人間が必ず陥る人生の苦しみを、ジョークを交えて肯定的に生きることの大切さを伝えている。

三 次の文章を読み、あとの設問に答えなさい。 解答番号は 23 37

十九世紀中頃、世界各地を植民地にした欧米列国が、一斉に日本に押し寄せてきた。鎖国していた日本は欧米列国に囲まれ、植民地化の絶体絶命の危機を迎えた。

その日本は植民地化されず、徳川幕藩体制から国民国家へ見事に变身して、世界最後の帝国国家に滑り込んでいった。この幕末から明治にかけての英雄たちの物語は何度も繰り返し語られ、それら英雄たちは近代日本人の原点にもなっている。

私たちはこの英雄たちの華々しい活躍に目を奪われがちだ。しかし、なぜ日本は植民地にならなかったのか、この理由は決して英雄たちだけの物語ではない。様々な要因が複合的に絡み合っているはずだ。

長い間、そのようなことを考えていた。あるとき、下関戦争で英国の陸戦隊が長州に上陸して戦っている絵と出会った。十七隻の四力国連合艦隊が長州を襲ったが、ケツキョク、長州藩に勝てなかった。その理由がこの絵に描かれていた。

いったいなぜ、欧米列国は強引に日本を征服しなかったか？ 圧倒的な巨砲戦艦持っていたのに、彼らは日本列島を前に何を躊躇(ちゅうちよ)していたのか？

歴史はいつも英雄たちを中心に語られていく。紀元前五世紀、ヘロドトスが「それは彼の物語だ！」と言って「歴史」という言葉が生まれた。歴史つまり History は、誰かが誰かを語る His・Story (彼の物語) である。そのため、どうしても歴史は人物たち、特に英雄を中心に語られていく。

しかし、インフラの世界に生きてきた私は、その歴史をインフラという下部構造から見る癖がある。

歴史を芝居にたとえると、歴史の下部構造は舞台と大道具で構成された舞台装置である。歴史で活躍した英雄たちは、その舞台装置の上で演技する俳優たちである。俳優たちの演技を評論する人は多いが、舞台装置を評論する人はいない。インフラに携わってきた私は、下部構造の舞台装置が気になってしまうのだ。

幕末、圧倒的な武力の欧米列国によって日本は植民地化される絶体絶命の危機にあった。なぜ、その日本は植民地化を免れたのか？

私は幕末に活躍した英雄たちを忘れて、歴史の下部構造から幕末を見ていく。下部構造からの視点とは、日本の地形と気象からの視点である。

十九世紀、欧米列国はアフリカ、アジアそして太平洋諸島を次々と植民地にしていった。植民地になった国々や地域は、ある共通する理由を持っていた。

それらはみな欧米列国の欲望をそそった。アフリカは奴隷の宝庫であった。奴隷だけではない。アフリカには象牙があった。金もあった。ダイヤモンドもあった。東南アジアには、ゴムの木が茂り、綿花や紅茶や香料のプランテーションに適した土地があり、ジュウジュンで勤勉な労働する人々がいた。さらに鉱物資源も産出され、二十世紀には石油まで発見された。

南太平洋には、青く透き通る海の島々が点在していた。その島々には、サーバントとして仕える温和で素直な人々が住んでいた。太平洋諸島は欧米人のリゾートとして、また太平洋の制海権のために支配すべき島々であった。

欧米列国の植民地になったアフリカ、アジア A 太平洋諸島は欧米人が垂涎する欲望の宝庫であった。

十九世紀中頃、欧米列国そしてロシア帝国は、かたくなに鎖国を続けていた日本に一齐に接近してきた。真つ先に日本に上陸したのが米国であった。

一八五三年、ペリー提督率いる四隻の米国艦隊が、江戸湾入口の浦賀沖に姿を現した。当時の日本船は五〇トン程度であったのに対して、黒船の蒸気船サスケハナ号は二四〇〇トンもあり、日本人は心底から驚愕（きょうおろ）した。

大統領の親書を携えたペリー提督は、久里浜に上陸した。黒船はさらに江戸湾奥に進入し、横浜、芝浦沖と江戸幕府を睥睨（へいげい）するように巡航し、いったんは米国に帰国した。

翌年の一八五四年二月、ペリー提督は再来日した。この来航の艦隊は七隻と増強されており、強い武力圧力を日本にかけてきた。アヘン戦争での英国の戦艦砲の長い射程距離を知った江戸幕府は、日米和親条約を締結せざるを得なかった。

日本は鎖国から開国へと向かった。

米国に続き、フランス艦隊、英国艦隊、ロシア艦隊らが一齐に日本に接近した。

列国は戦艦上から望遠鏡で日本列島を北から南まで観察し、生物学者や地質学者を上陸させた。彼らは病氣療養（りょうよう）や研究という名目で日本国中を歩き続け、日本列島の植物や鉱物を収集していった。

日本列島の地質や気象は、多様性を極めていた。欧米の科学者たちにとっては珍しい岩石や植物が溢れ、学術的好奇心を刺激する列島であった。しかし、この日本列島には、欧米人の欲望をかき立てるものはなかった。

日本列島には象牙はなかった。ダイヤモンドもなく、金も採掘し尽くされていた。ゴムの木もなく、小麦や大豆や綿花のプランテーションに適する広大な土地もなかった。太平洋諸島にあった暖かなリゾート地もなかった。

B、日本列島には、高い教育を受けた好奇心オウセイ（オウセイ)な人々はいしたが、奴隷にする人々はいなかったし、アヘンを売り付ける人々もいなかった。

この日本列島には欧米人の欲望をかき立てるものはなかった。

しかし、この日本列島には、X。

一八五四年三月末に日米和親条約を締結した直後から、欧米人が経験したことのない巨大地震が一齐に日本列島を襲いだした。

一八五四年の七月、M7・2の安政伊賀地震が発生した。伊賀、伊勢、大和にかけて約一八〇〇名の死者が出た。

これは彼らにとっては恐怖の序章でしかなかった。ア

同年の一八五四年十二月二十三日、駿河湾から遠州灘一带を震源とするM8・4の巨大な安政東海地震が発生した。さらに、その三十二時間後の十二月二十四日、紀伊半島沖一带を震源としてM8・4の安政南海地震が発生した。安政東海地震と安政南海地震させた死者数は約一〜三万人といわれている。イ

特に、安政東海地震では房総から伊豆、熊野にかけて大きな津波が襲いかかり、伊豆下田で停泊していたロシア軍艦・ディアナ号は、この津波に呑まれ大破しチンボツしてしまった。ウ

さらに、翌年の一八五五年十一月十一日、首都・江戸をM 6・9の直下型巨大地震の安政江戸地震が襲った。家屋倒壊と三十数カ所から起こった火災により丸ノ内、本所、深川一帯に大きなヒガイが発生し、死者は七千人から一万人にのぼった。

この安政の三天地震の後、約九年間にわたって三千回もの余震が発生した。

エ

日本列島の災害は地震だけではなくた。一八五八年、長崎に上陸したコレラは江戸まで広がり、死者二十万人を出す江戸時代最大の災害となった。

さらに、一八五九年、大雨によって利根川と隅田川が決壊して、江戸市中は大水害に見舞われた。

日米和親条約締結後の五年間、日本列島は欧米人を恐怖のどん底に落とした。この災害列島に欧米人の Y は萎えていった。

さらに、欧米やロシア人にとって、日本列島の地震や水害の自然災害だけが厄介者ではなかった。

日本列島の地形そのものが、彼らにとって耐えがたいほどの厄介者となったのだ。

(竹村公太郎「日本史の謎は地形で解ける」)

問一 傍線部 a～eと同じ漢字が用いられているものを、次からそれぞれ一つずつ選び、番号で答えなさい。

- a ケツキヨク (23) ① キヨクタンな意見。 ② 将棋で九段同士がタイキヨクする。
- b ジュウジュン (24) ① ジュンジュよく並んで下さい。 ② ジュンシンな子ども。 ③ キヨクジツ旗を掲げる戦艦。 ④ この坂はクツキヨクしている。
- c オウセイ (25) ① 健全なるセイシン。 ② セイダイな歓迎会を開く。 ③ 入場をセイゲンする。 ④ セイトウ主張。
- d チンボツ (26) ① 山海のチンミ。 ② 物価がチンセイする。 ③ 非礼をチンシヤする。 ④ 実質チンギンが上がらない。
- e ヒガイ (27) ① 政府の失政をヒナンする。 ② 安全地帯にタイヒする。 ③ 首脳どうしのゴクヒ会談。 ④ ヒコク人の弁護をする。

問二 空欄A・Bにあてはまる接続語として最も適切なものを次から選び、それぞれ番号で答えなさい。解答番号

は (28)・ (29)。

- A (28) ① すると ② そして ③ たとえば ④ しかし
- B (29) ① ただし ② そこで ③ さらに ④ なぜなら

問三 空欄Ⅹにあてはまる語として最も適切なものを次から選び、番号で答えなさい。解答番号は **30**。

- Ⅹ **30**
- ① 欧米人の知らない穀物や魚介類に恵まれていたのだ。
 - ② 欧米人より豊かな教養を持った人々が多かったのだ。
 - ③ 欧米人を恐怖させる自然が嫌というほどあったのだ。
 - ④ 欧米人が経験したことがない深い歴史があったのだ。

問四 二重傍線部「躊躇」・「驚愕」の意味として最も適切なものを次から選び、それぞれ番号で答えなさい。

解答番号は **31**・**32**。

- 「 **31** ① 深く考えること。 ② ためらうこと。 ③ 不審に思うこと。 ④ 遠慮すること。
- Ⅱ **32** ① 非常にびつくりすること。 ② この上なく感動すること。 ③ ひどく恐れ畏まること。 ④ 大いに親近感を抱くこと。

問五 この文章からは、次の一文が抜けている。文中の「ア」～「エ」のどこに戻すのが適切か。あとから一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は **33**。

この余震は、日本列島に上陸した欧米人を驚怖させ、苦しめ続けた。

- ① **ア** ② **イ** ③ **ウ** ④ **エ**

問六 傍線部「なぜ日本は植民地にならなかったのか」とあるが、日本が植民地にならなかった理由として最も適切なものを次から選び、番号で答えなさい。解答番号は **34**。

- ① 確かに日本は、国内で自給自足できる唯一の国ではあるが、欧米諸国が望むような資源も農作物もなく、国内が天皇を擁立する倒幕派と幕府を支持する攘夷派に分かれて混乱し、入国するのは危険である上、自分たちよりもはるかに勇敢で優れている日本の侍にはとても勝てないと思ったから。
- ② 確かに日本は、欧米の科学者たちにとっては珍しい岩石や植物が溢れ、学術的好奇心を刺激する列島であったが、他のアジア地域と違って地震や津波、大水害などが起こりやすい自然による災害大国であり、さらに疫病の発生や地形の複雑さなどから支配するには不向きだと思っただから。
- ③ 確かに日本には、青く透き通る海の島々が点在しており、その島々には、サーバントとして仕える温和で素直な人々が住んでいたが、アフリカとは違って、象牙やダイヤモンドもなく、金も採掘し尽くされ、東南アジアのようなゴムの木もプランテーションに適する広大な土地もなかったから。
- ④ 確かに日本では、人々は見知らぬ外国人に対して優しく接してくれるが、神道や仏教、儒教を背景とした武士道が存在し、諸外国の迷惑を見極め行動する知性と理性がある人が多く、他のアジア・アフリカ地域と違って、奴隷にできる人々もないしアヘンを売り付ける人々もいなかったから。

問七 空欄Yにあてはまる言葉として最も適切なものを次から選び、番号で答えなさい。解答番号は **(35)**。

- ① 愛情
- ② 勇氣
- ③ 欲望
- ④ 忍耐

問八 傍線部2「インフラ」という下部構造から見る」について、筆者の考えと一致しないものを次から一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は **(36)**。

- ① 日本の歴史を考える場合、日本列島の地質や気象等から考えるということ。
- ② 日本の歴史を考える場合、日本の地形を含めた自然から考えるということ。
- ③ 日本の歴史を考える場合、日本の国土の環境を基にして考えるということ。
- ④ 日本の歴史を考える場合、日本を支える、庶民の生活を考えるということ。

問九 本文に書かれている内容として最も適切なものを次から選び、番号で答えなさい。解答番号は **(37)**。

- ① 幕末に活躍した英雄たちは、芝居にたとえると舞台装置の上で演技する俳優たちであり、最も目立つ存在である。しかし、歴史を語る上で重要なのは、英雄たちの陰に隠れた一般庶民であり、江戸末期、その脇役である、名も知れぬ人々が団結し、欧米列国に立ち向かったことで、彼らを撃退することができた。
- ② 十九世紀、欧米列国はアフリカ、アジアそして太平洋諸島を次々と植民地化して多くの人々を奴隷やアヘン中毒者にし、日本にもその矛先を向けた。しかし、日本人の独自の価値観や文化を知ることにより、征服するよりも貿易を中心とした関係を持つことの方が自国の利益になると考え、武力での制圧を止めた。
- ③ ペリーの来航後、日本は開国せざるをえなくなり、それ以後、圧倒的な武力の欧米列国によって植民地化される絶体絶命の危機にあった。しかし、日本にはめばしい資源もなく、欧米と全く異なる特異な自然から多くの災害が頻繁に起こることを知り、それに耐えられなくなった欧米列国は日本征服をあきらめた。
- ④ 江戸末期、米国に続きフランス・英国・ロシアらが一斉に日本に接近し、列国は日本の地質・地形・植物等を調べ、日本征服を目論んだ。しかし、下関戦争で十七隻の四力国連合艦隊が長州に敗れたことから、日本との圧倒的な武力の違い、さらにはその背景にある日本人の教養の高さを悟り、日本から撤退した。